☆高血糖予防教室~調理実習~☆

<ご飯>

材料1人分

ご飯	100g

80g	120g

1人分の栄養量	
エネルギー	168kcal
たんぱく質	2.5g
脂質	0.3g
炭水化物	37.1g
食塩相当量	0g

202kcal
3g
0.4g
44.5g
0g

1 食分の栄養量

エネルギー 502kcal たんぱく質 27.2g 脂質 13.2g 炭水化物 65.5g 食塩相当量 2.3g

:at ±富

<たらの和風ムニエル>

材料1人分

リンプリー・アヘン	
たら	100g(1切れ)
こしょう	0.5g
おからパウダー	5g
オリーブ油	大さじ1/2(6g)
★みりん	小さじ1(6g)
★しょう油	小さじ1(6g)
★砂糖	小さじ2/3(2g)
★しょうが	1g
レモン	10g(輪切り)
もやし	20g
小松菜	40g

- ① もやしは茹でてよく水気を切る。
 小松菜は茹でて、水にさらしてよく水気を切り、5cm程度の長さに切る。
 レモンは輪切りにする。
- ② たらの水気を拭いてこしょうをふり、おからパウダーをまぶ
- す。
 ③ フライパンを熱し、オリーブ油を引き、たらを焼く。
- ④ 焼き色がついたら、裏返して、ふたをし、弱火で5分焼く。
- ⑤ 茹でた野菜をお皿に盛り、焼いたたらを上に乗せる。
- ⑥ ★の調味料を混ぜ合わせ、⑤にかけて、輪切りのレモンを 飾って完成。

1人分の栄養量	
	203kcal
たんぱく質	21.2g
脂質	7.3g
炭水化物	11.6g
食塩相当量	1.2g

ポイント①

魚や肉は大きいまま調理すると表面積を小さくでき、油の吸収率 を抑えられます。

ムニエルは本来小麦粉を使いますが、代わりにおからパウダーを使用すると炭水化物量を減らすことができます。さらに、おからの炭水化物の約80%は食物繊維です!おからを使うことで糖質量が減る!食物繊維が摂れる!、一石二鳥ですね。

小麦粉を使用

208kcal
19.3g
8.5g
12.2g
1.2g



炭水化物と糖質は同じではない!

炭水化物と糖質、同じ意味合いで使われていることがありますが、正確には異なります。炭水化物は、糖質と食物繊維の合計をさします。つまり、炭水化物から食物繊維を除いたものが糖質です。

<きゅうりとパプリカのピクルス>

材料1人分

きゅうり	20g
パプリカ(赤)	10g
カンタン酢	大さじ1

1人分の栄養量	
エネルギー	25kcal
たんぱく質	0.3g
脂質	0.0g
炭水化物	5.8g
食塩相当量	0.6g

- (1) きゅうりを縦(棒状)に切り、同じ大きさでパプリカも切る。
- ② ジップロックやビニール袋にきゅうり・パプリカ・酢を入れて 揉み、味を染み込ませる。(5~10分目安)
- ③ 袋から取り出し盛り付けて、完成。

ポイント②

副菜を考えると、 煮物や和え物など砂糖としょう油を使って味付け をすることが多いと思いますが、今回は酢を使ったピクルスを取り | 入れてみました。酢や香辛料を使うことで、糖質や塩分を抑えること [|] ができます。

<ピリ辛きんぴら風>

材料1人分

こんにゃく	20g
大根	60g
ねぎ	3g
鷹の爪	0.5g
★しょう油	小さじ1/2(3g)
★酒	小さじ1/2(2.5g)
★みりん	小さじ1/2(3g)
★砂糖	小さじ1/3(1g)
ごま油	小さじ1/2(2g)

- 1人分の栄養量 エネルギー 49kcal たんぱく質 0.5g 脂質 2.2g 炭水化物 6.4g 食塩相当量 0.4g

- ① 大根を1cm角に切り、下茹で(あく抜き)をし、水気をきって おく。こんにゃくを3分ほど下茹でし、粗熱がとれたら大根と 同じくらいの大きさにちぎり、水気をきっておく。
- ② ねぎを小口切りにする。
- ③ ★の調味料を合わせておく。
- ④ フライパンにごま油を引き, 鷹の爪を炒める。
- ⑤ 大根とこんにゃくの水気をペーパータオルでとり、焼き目が 付くまで炒める。
- ⑥ 合わせておいた調味料を加え,汁気が飛ぶまで炒める。
- ⑦ 皿に盛り、ねぎを乗せて、完成。



ポイント③

こんにゃくのすごい力

- ・エネルギーが低く、食物繊維が豊富に含まれます。
- 糖質や脂質の消化吸収を抑制する作用があります。
- ・噛む回数も増えるので満腹感も得られ、かさ増しにもおすすめ!

<牛乳寒天>

材料1人分

粉寒天	1g
水	50ml
牛乳	100ml
低糖質甘味料	小さじ1(5g)

1人分の栄養量	
エネルギー	70kcal
たんぱく質	3.3g
脂質	3.8g
炭水化物	6.3g
食塩相当量	0.1g

- ① 鍋に水と粉寒天を入れ火にかけ、しつかり煮溶かす。
- ② 溶けたら火を止め低糖質甘味料を加えよく混ぜる。
- ③ 牛乳を加え器に流し入れ、冷蔵庫などで冷やし固め、完成。

「ポイント④」

血糖をコントロールするためにはエネルギーをとり過ぎないことが 基本ですが、満足感が得られないと続かないものです。料理やおや つでカロリーゼロの甘味料を活用するのもかしこい方法ですよ!





ご自身の食生活を見直しましょう

皆さんは「日本型食生活」という言葉を聞いたことがありますか?

日本型食生活とは、昭和50年代ごろの食生活のことです。ごはんを主食とし、主菜・ 副菜に加え、適度に牛乳・乳製品や果物が加わった、バランスのとれた食事です。

最近では主食にパンや麺類もありますが、ごはんのいいところは、和・洋・中ともよく 合うおかずが、いっぱいあるということです。

また、汁物は、中の具材により主菜にも副菜にもなります。卵や大豆製品のような具材がたっぷり入れば主菜に、野菜、キノコ、海藻などを中心にすれば、副菜になります。だしは、日本の大切な食文化です。食材が持つおいしさや、だしのうま味を生かすことで、過剰な塩分の摂取を抑えることもできます。